

【石巻ICT戦略会議】

ISHINOMAKI LIFE ASSIST SERVICE

社会課題テーマの設定	災害が起きたときの行動のサポート（的確な状況把握と被害を最小限に食い止めるために必要なこと）
解決アプローチ	3.11の教訓から、自治体と住民が一緒になって、的確な状況把握と被害を最小限に食い止めるために必要なことを検討し、 デュアルユースな情報伝達アプリケーション を開発して住民に利用してもらう
作品概要	町内会単位での情報伝達アプリケーション（平常時は生活に役立つ情報、災害時は音声による避難指示等を行う）
利用する公共データ	<ul style="list-style-type: none"> 行政区情報（石巻市）、ゴミ収集情報（石巻市）、避難施設情報（石巻市） 等 ※現状、可能な限り電子化したうえでの公開に向けて前向きに検討中であるとの回答をいただいている。

データ項目	現在の状況	今後の方針	行政保有データ
基盤地図	著作権の関係から、市として外部機関が無償かつ用途を限定しない形で利用可能なデータは保有していない。国土院地図が利用可能。	国土院の地図からSVG変換ツール、位置情報付加工ツールを用いて基盤地図を作成	△
行政区分け情報のデータ	現在は紙データのみで存在。	基盤地図と位置情報付加工ツール等を用いてデータ化	○
行政区分け情報と連携する、ゴミ収集関連データ	収集位置情報以外は機械判読可能な電子データ。位置情報は公開範囲を限定。	位置情報を公開していただき、データ化	○
行政区分け情報と連携する、利用者属性情報	利用者各人が情報を登録することを想定	利用者がアプリケーションから登録することを想定	×
3.11被災状況データ	現在は紙データおよびpdfデータのみで存在。利用範囲が限定されている。	基盤地図と位置情報付加工ツール等を用いてデータ化	○
ハザードマップ	現在再作成中。過去のものは混乱するため非公開。	再作成が終了次第公開予定である。公開に際しては、SVGでの公開を依頼交渉中	○
避難所データ			○
防災設備関連データ			○
官署名・位置データ	位置情報以外は機械判読可能な電子データ	基盤地図と位置情報付加工ツール等を用いて位置情報付加工してデータ化	○
救急設備関連データ			○
備蓄品関連データ			○
利用者の位置情報	利用者の携帯GPSデータを活用	利用者の携帯電話のGPS情報を取得しマッピング	×
ゴミ収集車位置情報	現在は存在していない	予算がつけば、収集車にGPSを装備しデータを取得し公開	○
支援物資関連情報	現在は存在していない	予算がつけば、過去の状況を参考に支援物資情報を一元管理可能なプロトタイプDBを作成し一部を公開	△
支援物資配給関連情報	現在は存在していない	予算がつけば、過去の状況を参考にGISをベースに復旧ロジスティクスを可視化する仕組みを構築し一部を公開	△
被害情報関連情報	過去のアーカイブが断片的に存在	予算がつけば、過去のデータを参考に、基盤地図をベースに被害状況を可視化するアプリを構築し公開	△